

救 助



救助業務の状況

本市の救助業務体制は、平成7年4月から4署体制とし、各署に救助隊を配置しています。

教育訓練は、救助隊教育訓練実施計画に基づき、年間及び月間実施計画を定めて気力、体力の充実強化を図り、隊員の技能向上に努めています。

なお、平成14年から特殊災害（生物剤、化学剤に起因する事故等）に対応する資器材の整備強化を図るとともに、近年多発する大規模自然災害やテロ等の特殊災害に迅速的確に対応するため、人命救助に関する高度な知識・技術を身につけた隊員で構成する高度救助隊（スーパーレスキュー松山 2隊13名）を平成18年4月に創設し、中央消防署に配置しました。

救助隊の編成

（総員51名 車両10台）（令和7年4月1日現在）

隊 編 成						人 員	配 置 車 両
高度救助隊	中央消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名			7 名	救助工作車Ⅲ型（2.9tクレーン付） 特殊災害資機材車
		二部	隊長 1 名 隊員 5 名			6 名	
特別救助隊	東消防署	一部	隊長 1 名 隊員 6 名			7 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 小型動力ポンプ付軽積載車
		二部	隊長 1 名 隊員 6 名			7 名	
	南消防署	一部	隊長 1 名 隊員 5 名			6 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付）
		二部	隊長 1 名 隊員 5 名			6 名	
	西消防署	一部	隊長 1 名 隊員 5 名			6 名	救助工作車Ⅱ型（2.9tクレーン付） 屈折はしご付消防ポンプ自動車 小型動力ポンプ付積載車 拠点機能形成車 消防ポンプ自動車（中島支所）
		二部	隊長 1 名 隊員 5 名			6 名	



中央消防署 救助工作車Ⅲ型



南消防署 救助工作車Ⅱ型

救助出動等の状況

令和6年中の救助出動件数は、250件(前年284件)、活動件数は186件(前年210件)です。
前年と比較すると、出動件数は、34件(12.0%)、活動件数は24件(11.4%)減少しています。
また、救助人員は、149人(前年176人)で、前年と比較すると、27人(15.3%)減少しています。

(各年中) (▲減少)

区 分		令和6年	令和5年	増減 (A－B)	増減率
		A	B	C	(C ÷ B × 100) %
出 動 件 数		250	284	▲ 34	▲ 12.0
活 動 件 数		186	210	▲ 24	▲ 11.4
救 助 人 員		149	176	▲ 27	▲ 15.3
内 訳	男性	81	91	▲ 10	▲ 11.0
	女性	68	85	▲ 17	▲ 20.0
出 動 台 数		1,343	1,463	▲ 120	▲ 8.2
出 動 人 員		4,642	4,685	▲ 43	▲ 0.9
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	11	6	5	83.3
	交 通	47	50	▲ 3	▲ 6.0
	水 難	7	9	▲ 2	▲ 22.2
	自 然 災 害	4	7	▲ 3	—
	機 械	3	4	▲ 1	▲ 25.0
	建 物	119	148	▲ 29	▲ 19.6
	ガ ス ・ 酸 欠	2	6	▲ 4	▲ 66.7
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	57	54	3	5.6

(注) 火災での出動件数は、救助活動を行った件数のみ計上しています。

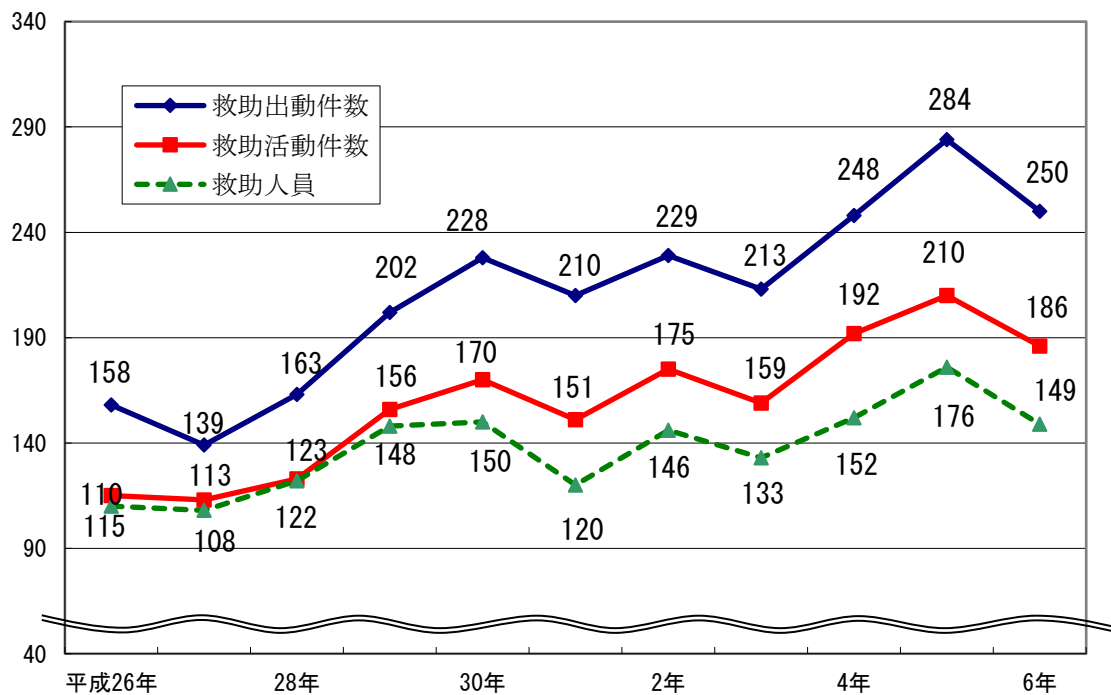
救助出動等の推移

10年前の平成26年を指数100とした場合、出動件数158、活動件数162、救助人員135となっています。

(各年中) (▲減少)

区分 年	救 助 出 動 件 数			救 助 活 動 件 数			救 助 人 員		
	件数	指数	対前年 増減率 (%)	件数	指数	対前年 増減率 (%)	人数	指数	対前年 増減率 (%)
平成26年	158	100	—	115	100	—	110	100	—
平成27年	139	88	▲ 12.0	113	98	▲ 1.7	108	98	▲ 1.8
平成28年	163	103	17.3	123	107	8.8	122	111	13.0
平成29年	202	128	23.9	156	136	26.8	148	135	21.3
平成30年	228	144	12.9	170	148	9.0	150	136	1.4
令和元年	210	133	▲ 7.9	151	131	▲ 11.2	120	109	▲ 20.0
令和2年	229	145	9.0	175	152	15.9	146	133	21.7
令和3年	213	135	▲ 7.0	159	138	▲ 9.1	133	121	▲ 8.9
令和4年	248	157	16.4	192	167	20.8	152	138	14.3
令和5年	284	180	14.5	210	183	9.4	176	160	15.8
令和6年	250	158	▲ 12.0	186	162	▲ 11.4	149	135	▲ 15.3

(件/人)



事故種別・署別出動の状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、出動件数で最も多いのは、建物等による事故の119件で、全体の47.6%を占め、次いで交通事故の47件（18.8%）となっています。

活動件数で最も多いのは、建物等による事故の102件で、全体の54.8%を占め、次いで交通事故の28件（15.1%）となっています。

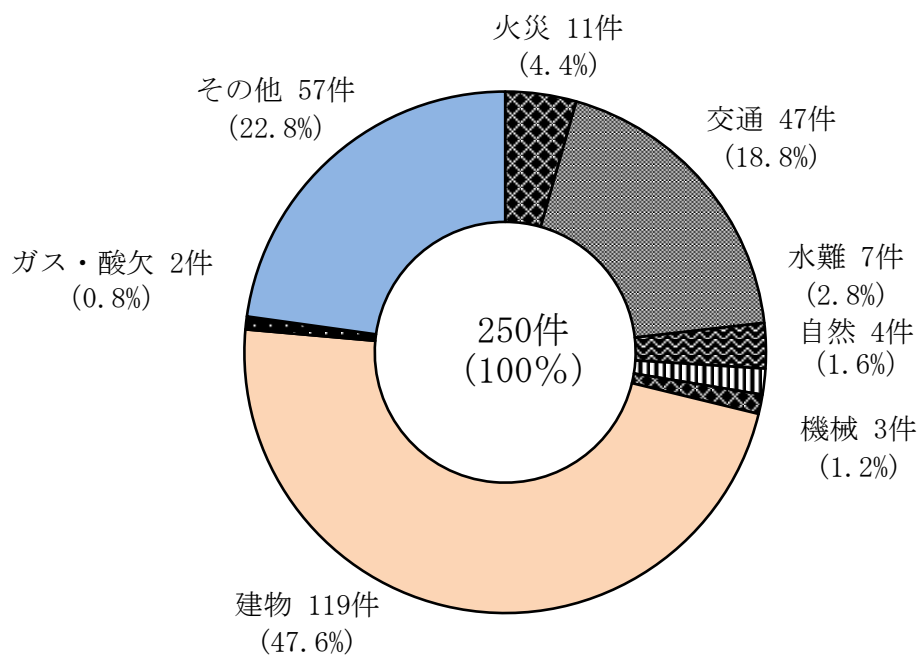
救助人員についても、建物等による事故が最も多く70人で、全体の47.0%を占め、次いで交通事故の30人（20.1%）となっています。

（令和6年中）

事故種別 署別		火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	合 計
中央 消防署	出動件数	5	20	2	4	1	45	2		22	101
	活動件数	5	13	1	2	1	33	2		12	69
	救助人員	6	14		3	1	23	1		10	58
	出動台数	52	105	16	59	6	214	12		104	568
	出動人員	199	338	50	565	18	660	36		328	2,194
東 消防署	出動件数	4	7				28			15	54
	活動件数	4	4				26			8	42
	救助人員	2	4				16			7	29
	出動台数	44	34				134			75	287
	出動人員	165	104				400			233	902
南 消防署	出動件数	1	14	1		1	27			9	53
	活動件数	1	7	1			25			6	40
	救助人員	2	8	1			18			5	34
	出動台数	11	77	6		6	133			44	277
	出動人員	55	234	17		19	408			129	862
西 消防署	出動件数	1	6	4		1	19			11	42
	活動件数	1	4	3		1	18			8	35
	救助人員		4	2		1	13			8	28
	出動台数	9	33	25		7	92			45	211
	出動人員	36	103	87		22	288			148	684
合 計	出動件数	11	47	7	4	3	119	2	0	57	250
	構成比 (%)	4.4	18.8	2.8	1.6	1.2	47.6	0.8	0.0	22.8	100.0
	活動件数	11	28	5	2	2	102	2	0	34	186
	構成比 (%)	5.9	15.1	2.7	1.1	1.1	54.8	1.1	0.0	18.3	100.0
	救助人員	10	30	3	3	2	70	1	0	30	149
	構成比 (%)	6.7	20.1	2.0	2.0	1.3	47.0	0.7	0.0	20.1	100.0
	出動台数	116	249	47	59	19	573	12	0	268	1,343
	出動人員	455	779	154	565	59	1,756	36	0	838	4,642

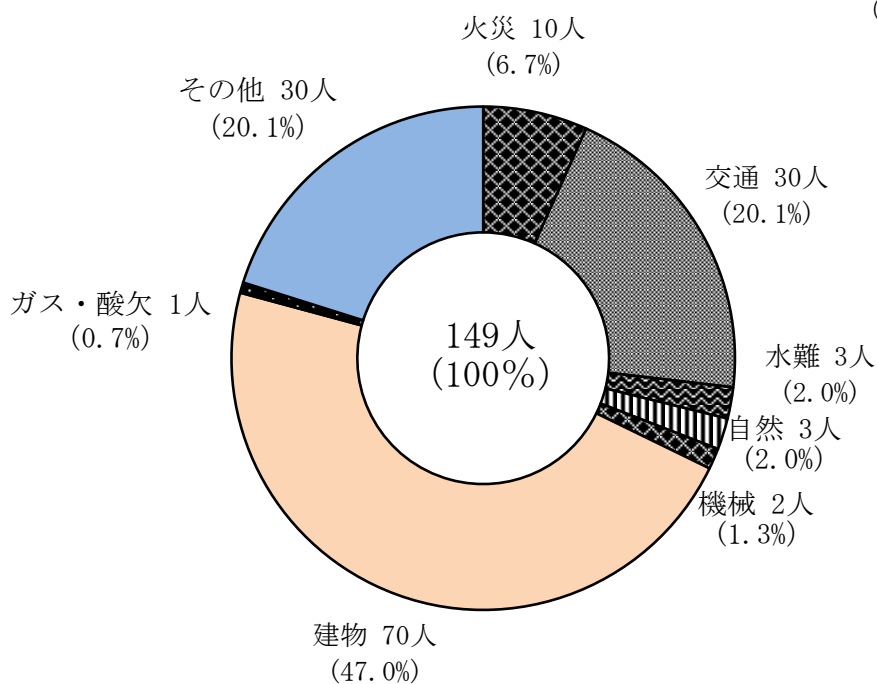
事故種別出動件数と構成割合

(令和6年中)



事故種別救助人員と構成割合

(令和6年中)



月別救助出動等の状況

月別に出動の状況をみると、7月が最も多く35件で、次いで12月の29件となり、月平均20.8件の出動となっています。

(令和6年中)

区分 月別	出動件数	活動件数	救助人員	事故種別出動件数								
				火災	交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他
1月	15	11	14	1	6				4			4
2月	16	15	8		4				9			3
3月	24	17	11	2	1	1			14			6
4月	22	11	10		10	1			6	1		4
5月	18	15	12	1	3	1		1	7			5
6月	16	13	13	1	4				6			5
7月	35	26	19	1	3	1	1	1	22			6
8月	22	16	13		3	1			11	1		6
9月	14	12	11		3				7			4
10月	18	12	7	1	4				8			5
11月	21	15	12	1	2		3		10			5
12月	29	23	19	3	4	2		1	15			4
合計	250	186	149	11	47	7	4	3	119	2	0	57

事故種別・傷病程度別救助人員

救助人員を事故種別・傷病程度別でみると、建物等による事故の軽症が29人（19.5%）と最も多く、次いで建物等による事故の中等症の24人（16.1%）、交通事故の軽症の14人（9.4%）の順になっています。

(令和6年中)

区分	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災		1	1	1	7	10
交通	2	2	7	14	5	30
水難	1		1	1		3
自然	3					3
機械		1	1			2
建物	2	3	24	29	12	70
ガス・酸欠			1			1
破裂						0
その他	3	3	5	10	9	30
合計	11	10	40	55	33	149

発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況をみると、屋内が150件で、出動件数全体の60.0%を占め、屋外は100件で40.0%となっています。

(令和6年中)

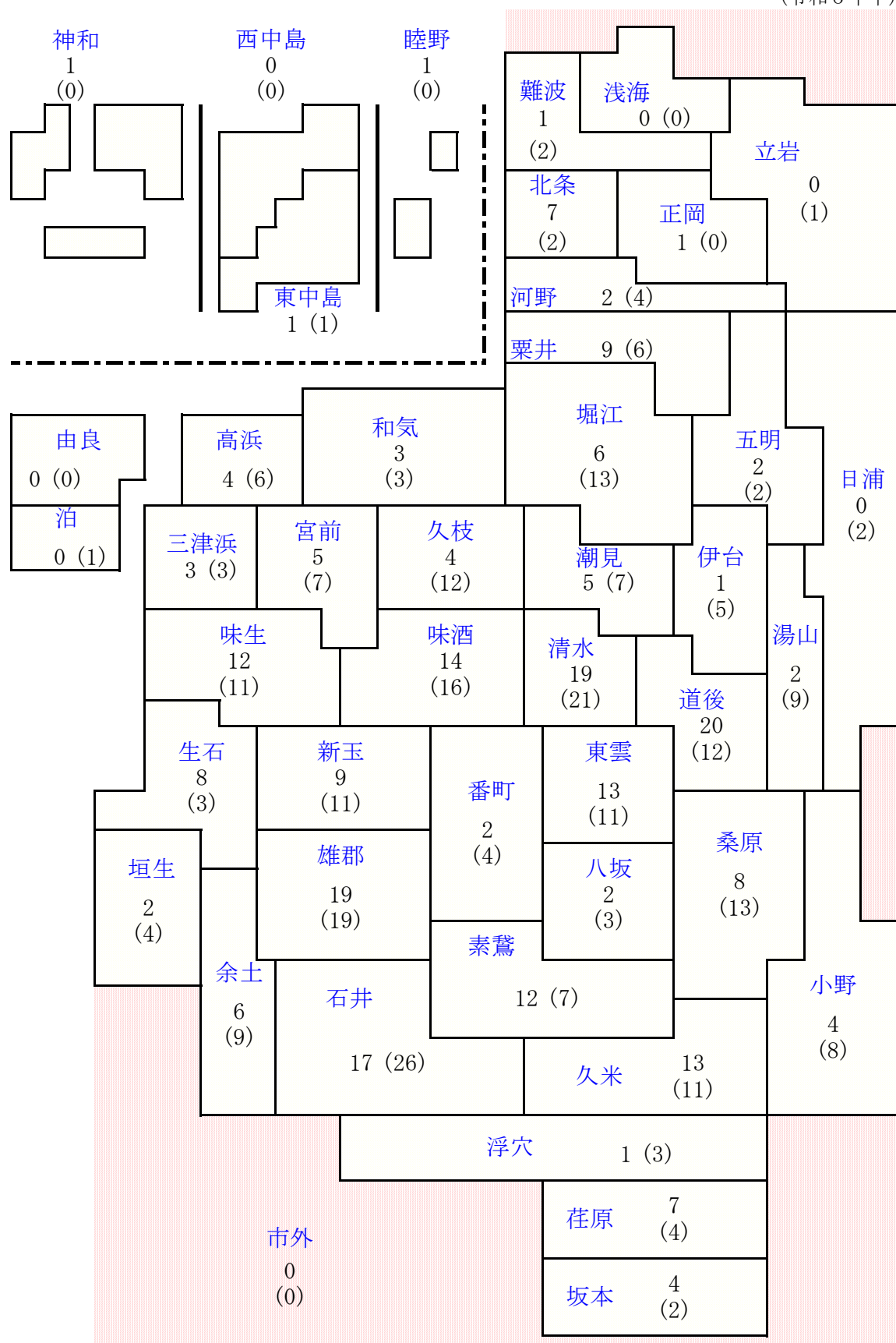
事故種別 発生場所別	火災		交通	水難	自然	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
	建物	建物以外									
屋 内	10	1			2	1	118	1		17	150
	9	1			3	1	69	1		6	90
住 居	9	1			2		115	1		15	143
	9	1			3		67	1		4	85
その他の屋内	1					1	3			2	7
						1	2			2	5
屋 外			47	7	2	2	1	1		40	100
			30	3	0	1	1	0		24	59
高 速 道 路											0
											0
その他の道路			34		2			1		4	41
			20								20
内 水 面			2	4						2	8
			3	2						2	7
外 水 面			1	3							4
			1	1							2
山 岳			1							3	4
			1							2	3
その他の屋外			9			2	1			31	43
			5			1	1			20	27
地 下											0
											0
そ の 他											0
											0
合 計	10	1	47	7	4	3	119	2	0	57	250
	9	1	30	3	3	2	70	1	0	30	149

(注) 救助人員数

地区別救助出動状況

出動件数 250件（前年 284件） ※（ ）内は前年の発生状況

（令和6年中）



救助隊員の訓練実施状況

(令和6年中)

訓練種別 区 分		体力練成 ・訓練	ロープ 基本・応用 訓練	検索・救助 訓練	各種 救助器具 取扱訓練	各種 救助事象 想定訓練	その他の 訓練	合 計
中央 消防署	実施延回数 (回)	1,071	12	99	177	115	4	1,478
	実施延人員 (人)	4,422	49	416	713	418	18	6,036
	延実施時間 (時間)	537.0	18.5	131.0	235.0	187.5	6.5	1,115.5
東 消防署	実施延回数 (回)	1,191	18	160	64	100	3	1,536
	実施延人員 (人)	5,047	75	764	310	416	15	6,627
	実施延時間 (時間)	631.5	31.5	405.5	129.0	253.5	6.0	1,457.0
南 消防署	実施延回数 (回)	1,065	135	89	40	90	5	1,424
	実施延人員 (人)	4,304	739	281	184	358	22	5,888
	実施延時間 (時間)	532.5	431.5	98.0	51.5	159.5	11.0	1,284.0
西 消防署	実施延回数 (回)	867	124	134	138	68	21	1,352
	実施延人員 (人)	3,647	734	526	565	292	48	5,812
	実施延時間 (時間)	433.5	274.0	151.5	139.0	101.0	21.5	1,120.5
合 計	実施延回数 (回)	4,194	289	482	419	373	33	5,790
	実施延人員 (人)	17,420	1,597	1,987	1,772	1,484	103	24,363
	実施延時間 (時間)	2,134.5	755.5	786.0	554.5	701.5	45.0	4,977.0

消防救助技術大会

第9回愛媛県消防救助技術大会

- ① 実施日：令和6年6月5日(水)
- ② 実施場所：愛媛県松山市勝岡町1163番地15 愛媛県消防学校

第52回消防救助技術四国地区指導会

- ① 実施日：令和6年7月26日(金)
- ② 実施場所：徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165番地 徳島県消防学校

第52回全国消防救助技術大会

- ① 実施日：令和6年8月23日(金)
- ② 実施場所：陸上会場 千葉県市原市菊間783-1 千葉県消防学校
水上会場 千葉県習志野市茜浜2丁目3-3 千葉県国際総合水泳場

国際消防救助隊（IRT）

海外で大規模な災害が発生した場合に、被災国からの要請に応じて、救助活動、医療活動、災害応急対策・災害復旧のための活動を行うために組織される部隊を国際緊急援助隊と言い、そのうち救助活動に従事する消防救助チームが国際消防救助隊と呼ばれます。

国際消防救助隊は、英語で「International Rescue Team of Japanese Fireservice」、略称「IRT-JF」とし、愛称が「愛ある手」とされています。

現在IRTは、全国の消防本部のうち77消防本部から選抜された599名の救助隊員で構成され、松山市消防局からは6名の救助隊員が登録されています。



令和6年度国際消防救助隊連携訓練
(福岡県福岡市 福岡市消防局 福岡市消防学校)

MEMO